Trusted Data連携WG　活動趣意書

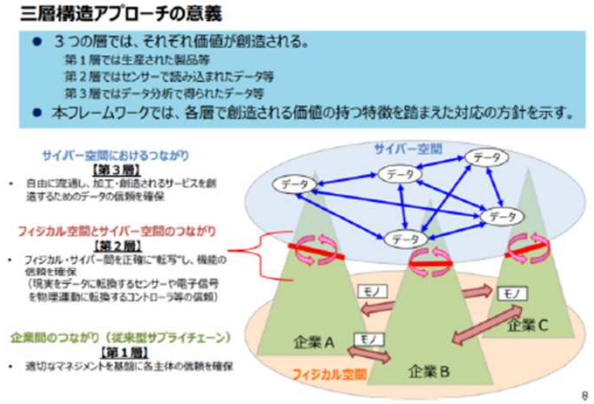
概要：

IoT機器の個々のセキュリティはガイドラインや認証スキームが確立され始め、今後個人が機器を利用し色々なサービスを利用していきます。

そのサービスを提供する上で、各機器の管理や連携を考える必要性があります。
機器自体への不正アクセスは認証スキームで改善はされるが、なりすまし機器のデータによりサービスへの介入や個人情報の漏洩につながる事が想定されます。

本ワーキングにおいては、想定されるサービスをもとに連携される機器のあり方とデータの信頼性
（Trusted Data）のあり方を明確化して対応すべき点をガイドラインとして作成するものとします。

利用ルールの無かったインターネットが生み出したセキュリティ概念はゼロトラストですが、このワーキングはインターネットにおいて個人にも企業にも責任を持つ「信頼される責任（Trusted responsibility）」も検討したい。（ゼロトラスト＝繋がない事が一番）



活動内容：

第三層（サイバー空間）におけるセキュリティとサービス
データ連携セキュリティガイドライン
セキュリティエコスシステムの検討

本年度ゴール：

ガイドラインの方針の構築。翌年度からガイドラインを作成する検証期間

参加者：

関電グループ、日立グループ、日立キャピタル、大和ハウス、積水ハウス、Vadax（Pactera）、ブルーブックス、富士通、日立オムロン、コムソル、富士ソフト、TIS、オプッテージ、日立社会情報サービス、TOKAI、Ueyes、アライドテレシス、トレンドマイクロ、NTT 持株、IBC、帝国データバンク、三井住友海上、東京海上、住友生命、アフラック、ニッセイ、横浜市、大阪市、市原市、沖縄県、（鳥取県、高知県）東京大学、慶應義塾大学、大阪大学、順天堂大学、総務省、IPA（経済産業省）

＊調整中/予定者含む
＊参加メンバーは初期運営上調整する可能性があります